

シマス。

此ノ意味ヨリ致シマシテ、當課ニ於テハ、曩ニ經費節約ニ關スル示達ヲ爲シ、諸子ノ考慮ヲ煩ハシツ、アルノデアリマスガ、今回更ニ、増收方法トシテ、諸子ノ日常ノ執務方ニ就キ、意ノ存スルトコロヲ申述セ、諸子ノ理解ト一段ノ努力ヲ切望スル次第デアリマス。扱テ、増收ノ途ヲ計ルニハドウシタラヨイカト謂フニ、一言ニシテ謂ヘバ、他ノ交通機關ニ奪ハレ、又ハ奪ハレントスル乘客ヲ、取り返ヘセバヨイ、ト言フコトニ歸スルノデアリマス。夫レニハドウシタラヨイカ、先ツ、一般乘客ハ、ドンナ乗物ヲ好ムカ、ト言フ乘客心理ヲ考ヘテ見マスルニ便利デ、速クテ、安全デ、安ク、而モ氣持ノヨイモノヲ好ムコトハ明カデアリマス。之等ノ條件ヲ完全ニ充タスニハ、市内電車ガ最も有利ナ立場ニアルト信ジマス。

ソコデ、諸子ニ希望スルトコロハ、要スルニ、乘客ニ對シ親切ニ、安全ニ、迅速ニ、時間正確ニ、輸送出來ル様努力シテ頂キタイ點デアリマス。之等ノコトハ、交通機關トシテノ本來ノ使命デアリマシテ、今更、事新ラシク申ス迄モアリマセンガ、而モ之等ノコトサヘ、完全ニ實行サルナラバ、乘客ハ期セズシテ吾市内電車ニ集リ、増收ノ途ハ自ら展カルモノト信ジテ疑ハナイノデアリマス。

諸子ハ、既ニ昨今ノ減收状態ニ着目シ、執務上配意セラレツ、アルコトハ、感謝ニ堪ヘナイ次第デアリマスガ、此ノ際上述ノ趣旨ニ即リ、諸般ノ點就中左記事項ニ關シ特ニ一層ノ留意ヲ煩ハシタイト存ジマス。

一、客扱ノ親切叮嚀

乘客ニ接スル場合、諸事ニツキ親切、叮嚀ヲ旨トスヘキコトハ、謂フマデモナイコトデアリマシテ、既ニ諸子ノ日常勵行セラルルトコロデアリマスガ、競争機關ノ激増シタ現今ニ於テハ一層ノ努力ヲ要スルノデアリマス。電車施設ノ完備ト相俟ツテ、諸子ノ親切ナル言葉便ヒ、叮嚀ナル態度ガ、乘客ニ對シ如何ニ好感ヲ與ヘルモノデアルカハ、一度立場ヲ代ヘテ考ヘテ見レバ明カナトコロデアリマス。斯クシテコソ乘客ハ、電車ニ親ミラ感ジ、自然ニ増加シテ來ルモノト信ジマス。一人ノ不親切ハ、總テ十人、百人ノ不親切ト看做サレル習デアリマスカラ、全員ノ協力ガ必要デアリマス。ソウシテ「市價従業員ハ實ニ親切タ」トノ感ジヲ一般乘客ニ普及スルコトガ大切デアリマス。

二、車間距離ノ保持

車輛ニ斷續ヲ生ゼシメナイ様、車間距離ヲ適當ニ保持シ各車ニ平均ニ乘客ヲ收容スルコトハ乘客ヲヨリ多ク吸收スル上ニ於テモ、各車擔當者ノ勞務ヲ公平ニシ、完全ナル執務ヲ遂行スル上ニ於テモ、最も肝要ナルコトデアリマシテ、過般來「スタツフ」運轉實施ノ結果、着々ト成績ヲ收メテ居リマスガ、兎モスレバ、勞務ノ回避又ハ乗務時間ノ關係等、自己ノ都合カラ、車間距離ヲ亂ス者ガアル様ニ見受けラレマスガ、斯ノ如キコトハ大ニ慎重ナベナリマセン。車輛斷續ノ結果ハ多岐待合客ヲ生ゼシメ、途ニハ乘客ノ他ノ機關ニ奪ハルルコトトナリ、收入減ノ重大ナル原因ヲ爲スモノデアリマス。

尚、終點ニ車輛ヲ停滯セシムルコトハ、最も禁物デアリマシテ、コノ點ニ就テハ、操車係員並乘務員諸子ニ對シ、屢々注意ヲ促シタノデアリマスガ、未ダ各終點ニ多數ノ停滯車ヲ見受けケルノハ、甚ダ遺憾デアリマス。假リニ、一系統ノ運轉車輛ヲ三十臺ト致シマシテ若シ起終點ニ各五臺宛、計十臺ノ停滯車ヲ生ジタトス

昭和四年八月

乗車ニ便宜ヲ與ヘル心懸ガ必要デアリマス。

乗客ノ最モ多イノハ、乗換停留場(交叉點及分歧點)デアリマシテ、從ツテ客ノ乗降ノ爲、比較的長イ停車時分ヲ要スルコトハ當然デアリマスガ、運轉手諸子ハ、此ノ交叉又ハ分歧點ノ通過ニノミ注意ヲ用ヒ、發車ヲ急グノ結果、乘客收容ノ餘地アルニモ拘ラズ、多數待合客ヲ殘シテ發車スルノ弊ガアリマスガ、斯ノ如キハ、乘客ニ惡感ヲ與ヘルノミナラズ、乘客ヲ他ノ機關ニ奪ハル結果トナリマスカラ特ニ反省ヲ促シタイト思ヒマス。

八、中出式車輛擔當運轉手ニシテ、停車シタル際、容易ニ「ドア」ヲ開カズ、乘客ヨリ催促ヲ受ケテ始メテ、開扉スルガ如キコトヲ往々見受けマスガ、斯クテハ、乘客ヲ收容セントスレバ發車ガ遅レ、發車ヲ急ガントスレバ乘客ハ乘車不能(特ニ婦人子供ニ其ノ例ヲ見ル)トナリ、乘客ニ迷惑ヲ及ボスノミナラズ延テハ乘客ヲ失フ結果トモナリマスカラ、待合客アル場合ハ、當ニ停車後直チニ開扉スル様ニ勵行サレタイト思ヒマス。

四、切符ノ取扱

車掌中切符發賣及改札ヲ忽ニスル者ガアリマスガ、改札ヲ遅レル爲、迂回路ニ乘換券ヲ求ムル客ヲ生ゼシメタリ、事故障礙等ニ遭遇シタ場合、無賃乗車客ヲ生ゼメタリスル結果トナリマス。乗車シタ客ニ對シ、直チニ改札ヲ行フコトハ之等不正乘車防止上最も必要ナルコトデアリマスカラ嚴ニ勵行シテ欲シイト思ヒマス。

五、運轉速度

「速ク」且「正確ニ」ト言フコトハ、交通機關ニ對スル社會一般ノ要求デアリマスガ、速度ニ付テハ各々一定ノ制限ガアリマス。吾市内電車ニ於テハ、此ノ制限ノ範圍内ニ於テ、各系統ニ付、「スタツフ」ヲ定メテアリマスカラ、專ラ之ニ準據シテ正確ナル運轉ヲ爲セハヨイデアリマスガ、多數運轉手ノ中利己主義ノ立場カラ故意ニ運轉ヲ遅速セシメ、殊ニ甲乙兩車ガ、分歧點ヨリ同一線路ニ進行スル場合、其ノ分歧手前ニ於テ、急ニ速クテ緩メ、相互ニ他車ヲ先行セシメントスル者ガアリマスガ、斯ノ如キハ、一般乘客ニ不快ノ感ヲ與フルモノデアリマスカラ、最も慎重ナベナラヌコトデアリマス。

六、事故防止

事故、障礙等ノ發生ハ、配車ヲ著シク亂スノミナラズ尊キ人命ヤ、財産ニ危害ヲ及ボスモノデアリマスカラ運轉上特ニ最善ノ注意ヲ拂ヒ、事故障礙ノ絶無ヲ期シタイト存ジマス。

七、信號手ト配車

信號手諸子ハ、操車係ノ延長トシテ配車關係ヲ常ニ念頭ニ置キ、最モ公平ニ車輛ノ通過ヲ指示シ、中間操車ノ實ヲ舉グル様努メ、運轉手諸子ニ於テモ、之ト協力一致シテ車輛ニ斷續ヲ生ゼシメナイ様、留意セラレンコトヲ希望シマス。

八、交代ノ敏速

乘客ヲ滿載シタ電車ヲ、操車場前ニ止メ、五分乃至十分間モ待タセテ後、漸ク交代者ガ操車場ヨリ緩慢ナ態度ヲ出テ來ルノヲ、往々見受けケマスガ、コソナ堪合ノ乘客ノ不滿、殊ニ數分ヲ爭フ朝ノ出勤時ニ於ケル乘客ノ苛立タシカガ、如何ニ惡感ヲ與ヘルカハ、想像ニ難クナイノデアリマス。夫レ故ニ、爾後交代ニ當リマシテハ、動作ノ機敏ニシ、直チニ交代ヲ了スル様努メテ欲シイノデアリマス。

東京市電氣局運輸課